



RACE REPORT

全日本ロードレース第3戦 もてぎ
自己ベストを更新するも、決勝は惜しくも7位。

■コース全長: 4,801m ■総客数: 16,000人

7/2(土)予選 ステップアップした600ccマシンで自己ベストタイムを更新!



パドックにやっと全クラスが揃った「スーパーバイクレース in もてぎ」は、震災後、初めてツインリンクもてぎで開催されるビッグレースとなりました。現地は晴天に恵まれた上に、「元氣と笑顔の復活デー」として多彩な催しが行われていたこともあり、予選日から多くのお客様で賑わっていました。沢山のファンが見守る中、125ccのマシンからスイッチして初となるレースに、意気込みたっぷりで臨んだ野左根航汰選手は、予選中に見事自己ベストタイムを更新! 2列目グリッド、6番手から、決勝レースは表彰台を目指して挑むこととなりました。

Pos.	No.	Machine	Rider	Team	Time
1	634	CBR600RR	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	R 1'54.822
6	31	YZF-R6	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	1'56.630

7/3(日)決勝 2列目グリッドからのスタートに期待が高まるも、惜しくも7位フィニッシュ

午後2時すぎ、待ちに待った、2011年初のJ-GP2クラスの決勝レースがスタートしました。イン側2列目から発進した野左根選手は、スタートでやや遅れをとってしまうものの、トラブルなどに巻き込まれることなく、オープニングラップをクリア。そして2周目、前方を走る車両に転倒がありコース上にマシンが残りますが、これも難なくクリア。ピットボックスでは、ドキドキしながらスタッパー一同でモニタを見つめる中、着々と周回を重ねていきます。野左根選手は、目の前のライバルと一進一退の戦いを続けますが、その間に先行する集団は先へと逃げてしまい、徐々に差を開けられてしまいます。その後、中盤から後半にかけては、タイヤを消耗してしまったこともあり、辛抱のいるレース展開に... 結局、そのまま挽回がならず、7位フィニッシュ。野左根選手にとって、悔しさの拭い切れない結果となりました。

まずは、ステップアップした600ccマシン初のレースで、着実に14ポイントを獲得できました。今後のシリーズ争いにもご期待下さい!



■全日本ロードレース 第3戦 in もてぎ レースレポート詳細 <http://norick.webike.net/2011/07/2011-rd3-motegi01/>

RESULT

決勝レース公式結果

Pos.	No.	Rider	Team	Rap
1	634	中上 貴晶	MuSASHIRTハルク・プロ	15
2	15	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	15
3	71	小山 知良	C.I.P.TNU	15
4	3	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	15
5	77	稲垣 誠	伊藤レーシングGMDアケノS	15
7	31	野左根航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	15

ポイントランキング

Pos.	No.	Rider	Pts.	TRM	TRM	SUGO	AP	OIC	SC
1	634	中上 貴晶	25	25					
2	15	関口 太郎	22	22					
3	71	小山 知良	20	20					
4	3	生形 秀之	18	18					
5	77	稲垣 誠	16	16					
7	31	野左根航汰	14	14					

ライダーからのメッセージ



「600ccにスイッチしてから初のレースでした。スタート直後から先頭集団に遅れをとってしまいました。必死に追いつこうと頑張ったのですが、逆にタイヤを消耗してしまい、後半ペースを上げることができませんでした。次のレースでは、スタート

からトップについていけるようにしたいです。」
(Webike Team Norick YAMAHA 野左根 航汰)

阿部監督より「レースを終えて」

今回のレースは、J-GP2での開幕戦であり、航汰の重量車でのデビュー戦でもありました。金曜日のフリー走行では、先の事前テストでの良い感触を得ることができず、悩みましたが、土曜日の予選では思い切った車体の姿勢変更がある程度当たったのか、1分56秒63の自己ベストで6位につけることが出来ました。これは、経験が浅い15歳の少年としては、満足とはいえないまでも、かなり良かったかな、と思いました。決勝レースは2列目の最もイン側のグリッドで、スタートで優位につけられれば、表彰台も期待できるな、と思っていました。しかし、少しフロントを浮かしてしまっただけで8位に順位を下げてしまいました。その後、経験の無さが影響したのか、練習の成果が発揮できず、順位を上げることも出来ず、7位でレースが終了しました。

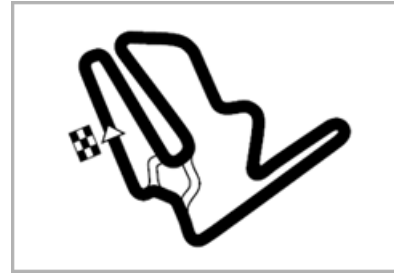
次のレースまでに重量車に対応したライディングができるようしっかり練習を重ね、見違える航汰を見せたいと思っています。応援して下さい。



全長距離フルコースで4.8kmを誇るヨーロッパアンスタイルのロードコース。コーナー数14(右8、左6ヶ所)、最大直線長762m、最大高低差30.4mのこの国際規格サーキットでは、多彩でエキサイティングなレースが楽しめる。また、施設内には、ホンダコレクションホールやファンファンラボ、レンタルカートなどのアミューズメントも充実している。今回は「MOTEGI 2&4 RACE」としての開催で、フォーミュラ・ニッポンも一緒に楽しむことができる。

サーキット概要

コース長	4,801m
コース幅	12-15m
直線長	762m
コーナー数	右8 / 左6
最大高低差	30.4m
アクセス	北関東自動車道 真岡ICより約40分



TOPICS

長いインターバルが明けて、久しぶりに開催されたもてぎでのレース。サーキットで再会した航汰選手は、あどけない感じが抜け、すっかり立派な高校生の面立ちに成長していました。スタッフとしては、嬉しいような、ちょっぴり寂しいような複雑な心持ち。徐々に、食べ物好き嫌いも減っていくのかな(笑) チームと航汰選手は、7月10日にも、同じもてぎで開催された「もてぎダートトラックレース」にも初参戦してきました。ダートは、全日本ロードレースのピリピリとした空気とは全く違った雰囲気漂っており、こちらもとても楽しいものでした。航汰選手はノーマルのFTRで参戦したのですが、どんどんマシンに順応していき、230クラスでは、なんとポールポジションをゲット!



ところが、「よし、いよいよ決勝レース、コースイン直前!」というところで、突然の雷雨と突風が襲撃! 避難を優先して車に乗り込んだので、テントが吹き飛び、FTRが倒れる様を、ただただ悲しく見つめるばかり...結局、その日のレースは中止となってしまったのです。うーん、残念!

公式サイト情報

- Webike TeamNorick
 YAMAHA
<http://norick.webike.net/>
- 野左根 航汰選手 プロ
 フィール
<http://norick.webike.net/nozane-kohta/>
- 参戦マシン紹介
<http://norick.webike.net/machine/>
- 2011年レーススケジュール
<http://norick.webike.net/race-schedule/>